

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3620367号
(P3620367)

(45) 発行日 平成17年2月16日(2005.2.16)

(24) 登録日 平成16年11月26日(2004.11.26)

(51) Int.Cl.⁷

A61K 7/06

F I

A61K 7/06

請求項の数 1 (全 2 頁)

(21) 出願番号	特願平11-260858	(73) 特許権者	599129753
(22) 出願日	平成11年8月12日(1999.8.12)		大田 和
(65) 公開番号	特開2001-55313(P2001-55313A)		東京都板橋区坂下1-35-9
(43) 公開日	平成13年2月27日(2001.2.27)	(72) 発明者	大田 和
審査請求日	平成15年4月8日(2003.4.8)		東京都板橋区高島平5-41-11
		審査官	大宅 郁治
		(56) 参考文献	特開昭57-116007(JP, A) 特開昭60-208906(JP, A) 特開平9-278632(JP, A) 登録実用新案第3061449(JP, U)
		(58) 調査した分野(Int.Cl. ⁷ , DB名)	A61K 7/06-155、35/02-10

(54) 【発明の名称】 育毛剤

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

トルマリン鉱石（電気石）を粉末化したものと、頭皮への付着性を高めるため、水、珪酸塩、ポリサッカライド、グリコール、有機酸、グリセリン、ハッカ油、アルコール、防腐剤を混合した粘性状の材料とを混練した育毛剤において、前記粉末化したトルマリン鉱石を40～50%の範囲とすることを特徴とする頭髮用育毛剤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、粉末化したトルマリン鉱石を粘性状の材料と混練させた頭髮用育毛剤に関し、前記粘性により長時間頭部表皮に付着させることができる育毛剤に関する。

【0002】

【従来の技術】

一般に従来の育毛剤は、頭部に液体で散布するものや、スプレー式のものが主流であり、形態は液体状のものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、それら液体形状のものは、頭部に使用する際直接に散布するため、液体である育毛剤が頭部より流れ落ちる確率も高く、それは同時に眼にも入ってしまう危険性があり、使用において注意を要する必要があった。

【0004】

そこで本発明の課題は、育毛剤そのものが流れ落ちる心配がなく、頭部表皮に長く留めおける形状を有し、かつ育毛効果をもつものが必要とされることにある。

【0005】**【課題を解決するための手段】**

前記課題を解決するために本発明は、トルマリン鉱石（電気石）を粉末化したものと、頭皮への付着性を高めるため、水、珪酸塩、ポリサッカライド、グリコール、有機酸、グリセリン、ハッカ油、アルコール、防腐剤を混合した粘性状の材料と混練し、その粉末化したトルマリン鉱石を40%～50%の範囲とすることを特徴とするものである。

【0006】

粘性状の材料としては、水、珪酸塩、ポリサッカライド、グリコール、有機酸、グリセリン、ハッカ油、アルコール、防腐剤などのいわゆる一般化粧品の基材に使用される素材でも良いが、長時間皮膚面に付着されている粘性をもつものであれば良い。

【0007】

トルマリン粉末の配合は40～50%の範囲とし、これは50%を超える場合は塗る際にダマ状になってしまったり、または塗れても短時間で皮膚表面から剥れ落ちてしまう結果となり、平均的な塗りが不可能となる。一方、40%に満たない場合はその育毛効果そのものに影響を与え、十分にその効果を発揮できないものとなる。

【0008】

以下にトルマリン鉱石のもつ効果を育毛の観点から以下詳述する。すなわち、トルマリンは温度変化により表面に電荷が生じ、遠赤外線を発生させることが判っており、それが人体の深層から細胞を温め血行を良くし、また、マイナスイオンによる界面活性効果の働きで体液を弱アルカリ性に調整し、新陳代謝を活発にして細胞を活性化させる働きがある。さらに、抗菌効果、洗浄効果、生物の細胞活性効果等も知られている。

【0009】**【発明の実施の形態】**

本発明による育毛剤は、頭皮に直接塗布することにより、頭皮表面に育毛剤中のトルマリンの層を形成することになり、そこから発生する前記新陳代謝作用が粘性物質により長時間止まることで、頭髮の毛根細胞に何らかの影響を及ぼすものと考えられるが、その直接的なメカニズムについては現時点においては解明されていない。しかしながら、温度変化によるトルマリン鉱石からの遠赤外線の発生が、毛根細胞の活性化につながることで、そしてトルマリン鉱石の界面活性効果の働きが新陳代謝を活発にして細胞を活性化させるところが頭髮の育毛を促進させる働きがある。

【0010】**【実施例】**

本発明による育毛剤の使用により、本発明者は3分の1頭髮が無い場合ではあるが、1日20g程度の塗布により1ヶ月で20%以上の発毛効果が認められ、4ヶ月で60%の発毛結果を記録した。

【0011】**【発明の効果】**

発明による育毛剤は、トルマリン鉱石のもつ遠赤外線効果および界面活性効果による新陳代謝を活発にして細胞を活性化させることにより頭髮の育毛効果を見出すことができる。

10

20

30

40